

離床センサー 現場レポート！

VOL. 30
Nov.2011

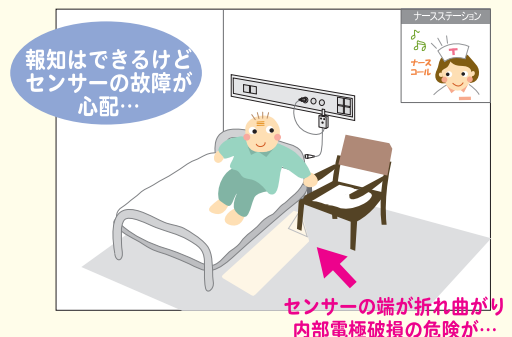
「離床センサーをお使いの現場から、様々な工夫をご紹介します！」

赤外線コールを使い、患者が一人でポータブルトイレに移乗しようとする
ことを報知させている、宮崎県T病院様の例をご紹介します！

宮崎県・T病院様 ご使用機種：赤外線コール（HIB-R）

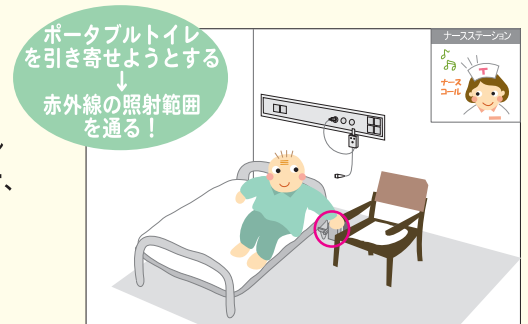
課題

一人でベッドサイドのポータブルトイレに移乗する患者がいる。
コールマット（床敷きセンサー）を使い、ポータブルトイレをヘッド
ボード付近から引き寄せの際に、コールマットの上にトイレが乗り
上げることで移乗のタイミングを知らせているが、センサーが折れ
曲がってしまうこともあり、故障に繋がる危険性が高い。



対策

ベッドフレーム下部に赤外線コールを設置。患者がポータブルトイレ
を引き寄せの際に患者の手と赤外線照射範囲にトイレが入ることで、
センサーが作動するようにした。



効果

患者が一人でポータブルトイレに移乗しようとするタイミングで介助
できるようになった。
また、床敷きセンサーで懸念された故障の可能性も解消された。

